



賃金・年金・介護・医療への不安は
外国人労働者のせいではない

小島 正雄

特集 戦後80年 私たちは、なにを選んできたのか

- | | | |
|---------------------|-------|----|
| 「継承」の欲望と「忘却」の再生産 | 福間良明 | 6 |
| 「平和」と女性たちに割り当てられた役割 | 齊藤小百合 | 11 |
| 80年後もつづく、平和と民主主義を守る | | |
| 労働組合の闘い | 浦田 誠 | 15 |
| 南風を吹かせよう | おだかずや | 19 |
| 失われる「学問の自由」―― | | |
| 新しい戦前へと歩むのか | 池内 了 | 23 |
| 軍事産業の今日 | 北村 嶽 | 26 |

80年後もつづく、平和と民主主義を守る

労働組合の闘い

南風を吹かせよう

軍事産業の今日

失われる「学問の自由」――

新しい戦前へと歩むのか

国家と教育 29 体罰裁判から見える体罰概念の変容

・福嶋尚子 29

『がらまなぶ』『賃金論』 4 人手不足と賃金

・菅原修一 33

第2特集 県民投票条例直接請求署名を

取り組んで

・樋口秀敏 52

職場の法律相談 介護両立支援制度

・河邊優子 59

誌上学習会『共産党宣言』 9 社会主義的および共産主義的文献②

・62

◆ 情報BOX

◆ キャラバンサライ

◆ スポーツ時評

◆ 世界はいま

◆ 経済を知ろう!

◆ 数字を疑え

46 44 42 40 38 37

68 66 50 48

(労大まなぶ全国連絡会議代表)

この原稿を書いているのは、参議院選挙の終盤ですから、参院選で感じたことを述べます。

テレビや新聞で、選挙の争点について触れられています。今回は、選挙前の世論調査で「物価高対策」が最大の争点だと出されていました。コメ価格の高騰で、小泉農水大臣が市場価格を下げさせるために備蓄米を小売業者に直接低価格で卸すことを素早く実行し、マスコミでも大きく好意的に取り上げられました。日々の生活に直結する物価が選挙の争点になることは至極当然のことでもあり、消費税減税の是非についても多く議論されていました。

それが、選挙戦も中盤に入った頃から「外国人政策」が急増していると言われはじめました。SNSで「外国人が優遇されすぎている」「なぜ日本人が冷遇されなければならないのか」といった書きせんでした。

外国人への権利制限の動きの背景には、日本人自身の生活苦や雇用不安、上がりない賃金など現在の不満や不安、年金や介護、医療などの将来不安などがあることは間違いないでしょう。問題は、その原因が外国人政策にあるのかどうかです。現在の私たちをおおういろんな不安には経済的な原因が多くあります。それがなんなかわからなければ不安は増大します。自分に責任はありませんから、外国人のせいだと言われればそうかと思う気持ちもわかります。

でも、外国人を排除しても不安は減りません。そこに原因がないからです。いま私たちが学習している経済の仕組みが、生活が苦しくなる原因を知らせてくれます。原因がわかれば、めざすべき社会が見えてくるのではないでしようか。